

# くたみのもりエクスプレス

vol.45



## 新年のご挨拶

- ┆理事長
- ┆統括院長
- ┆看護介護部長、事務局長
- ┆老健施設長、老健事務長

## TOPICS

- ┆部門紹介 検査科
- ┆人材育成研修
- 老健だより
- 道の駅たけた いちご狩り
- 外来担当医表



# 新年のご挨拶

理事長

おおくぼ

大久保

あきこ

彰子



新年明けましておめでとうございます。今年も皆様とともに当法人が106年目を迎えられましたこと、そして新たな年を迎えられましたこと大変嬉しく思います。地域の皆様と絆をこれまで繋いでくれたこと、心より感謝申し上げます。

今年も新年早々大きな災害に見舞われ心を痛めた人も少なくないと思います。被災された方々への

お見舞いとお亡くなりになった方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

昨年はパンデミックを乗り越えて「総合診療科」を新設するとともに、統括院長津村弘先生をお迎えし、新たな法人としてのスタートを切ることができました。今年は、地域に根ざし、地域の人々の「現実」に寄り添い、それぞれの人の「多様性」と共に生きていくことを大切にしたいと考えています。地域課題の解決を図ることが未来に繋がると捉え、地域の皆様とのニーズにお応えすることで「医療・介護の質の向上」を目指していく所存です。地域、職員の皆様、当法人に関わってくださいまするすべての方々の未来のために、また皆様の日々の暮らしを幸せに生き生きと過ごせるようにするためのお手伝いをさせていただきたいと思っています。

少子高齢化、人口減少の問題はこれからも続いていきます。「見えない未来」に不安を感じるのではなく「未来」を信じ私たちの生活を豊かにすることに焦点を当てていきたいと考えています。人生百年時代が到来した今、元気に、心豊かに生活が続けられるために私どもが出来る事は全てさせていただきます。ただきたいと思えます。

今年も辰年。龍のごとく上昇気流に乗りこの平和な世を次世代へと繋いでいきましょう。本年も皆様のご健康をお祈りいたします。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



## 統括院長

つむら ひろし  
津村 弘



年が明け新しい年を迎えました。元日には能登半島で大きな地震が起き、2日は羽田空港で航空機の衝突事故が起こるなど、波乱の幕開けとなりました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

一方で、数年にわたって続いたコロナ禍は、落ち着きを見せ、まだ油断はできませんが、以前の日常が戻りつつあります。年末に

は、数年ぶりの忘年会を楽しまれた方も多いのではないのでしょうか。

竹田市は、85歳以上の高齢者の割合が全国一高いと言われています。しかし、30年ほど前と比べて、同じ年齢でも元気な人々が増えていきます。これは、平均寿命の延びとともに健康寿命も延びていることを示しています。私自身60代後半となりましたが、思い出すと、自分の親たちは、今の自分よりもっと老人のようであったと感じます。ですから、暦の年齢はもはや関係ない時代が到来しつつあるのかもしれないかもしれません。

さて、本年は医療を取り巻く環境は大きく変わる年です。4月には診療報酬改定が予定されています。また、働き方改革で医療者の勤務時間の削減やそれに伴う勤務形態の改善が求められます。もと、竹田地域においては、医師、

看護師、介護スタッフとも人員が不足しています。これに加え、働き方改革による影響が心配されます。このような中でも、医療の質を落とすことのないように、昨年よりできる準備は行ってまいりました。

医療や介護は、受ける側の皆様と提供する側の私たちで、いっしょに実践するものだと思っています。日々元気に生活し、仕事ができるよう、皆様の健康の維持に、私たちはお役に立ちたいと心から願っています。地域の皆様に寄り添った病院であるよう決意を新たにしております。本年もよろしくお願いいたします。



# 新年のご挨拶

看護介護部長

佐保 さほ

美恵子 みえこ

新年明けましておめでとうございませう。昨年は、「学びを共有する仕組みづくり」や「見られている」という意識を培うことを目的に、コミュニケーションT A Zの石本先生に3回シリーズで、「今こそ改善の時！私の医療コミュニケーション」の講義をお願いしました。研修生は法人全体で24名、6つのグループに分かれて、お互いの意見や考えをシェアしながら、自身のあり様について振り返りを行っている最中です。講義内容に、①相手の顔を見ながら話す、②無意識になりがちな自分の表情や話しぶりに意識を向ける、③相手の雰囲気、話しぶりに合わせて話す、④思ったことを言葉にして伝える（ほめる・認める・ねぎらう など）コミュニケーションの基本スキルについて考え、実践する研修となっております。この学びを当法人を利用される患者さんやご家族の方に、寄り添える医療従事者として成長できることを期待しています。

今年の干支は「辰」です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺

盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。他職種と連携・調整を行い、組織としての形を整えることができればと思います。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

事務局長

三浦 みうら

進治 しんじ

新年明けましておめでとうございませう。世間では、コロナ禍からコロナ後に移行したかのような風潮もあり、そろそろ収束へ・・・と思っていました。まだまだ油断はできません。加えて、インフルエンザ、咽頭炎などの感染症も拡大しており、医療機関としてはピリピリした日々を過ごしています。こういう状況ですので、止むを得ず、診療や面会に一部制限をかけていますが、ご理解とご協力をお願いいたします。さて、新年を迎えて地域の中核医療機関として、更なる機能向上を目指しているわけですがその一部をご紹介します。

まずは、津村統括院長に就任していただきました。先生は、現大分大学参与其中あり、元大分大学副学長、元大分大学医学部附属病院長、整形外科教授などの要職を歴任され、大分県の地域医療に貢献されてきました。今後は、竹田市の整

形外科分野の疾病・疾患への対応は当然のことながら、健康増進及び健康寿命の向上にもご尽力していただけるものと思っています。

次に、総合診療科の開設です。総合診療科部長として杉井先生に就任していただき、当法人介護医療院長の多田先生のほか、非常勤医師の筑波先生、重光先生にも応援していただき、受診科に迷ったらずは総合診療科を受診していただくことで、受診時の不安を取り除けるようにしています。お気軽に受診していただければと思います。

また、当院は大分県の災害拠点病院の認可を受けており、大分県及び竹田市と連携しながら、万が一の時にその機能を發揮できるように取り組んでいます。今年度は非常用発電機と非常用放送設備を更にしたしました。非常用発電機は病院全体の機能を維持できる規模のものであり患者さんだけではなく地域住民の支援にも、お役に立てると思っています。

その他にも、救急医療指定病院、へき地医療拠点病院、DMATチーム整備など重要な機能があり、今後は行政と更に連携を深め、全職員が一丸となって機能向上に努めますので、今年もよろしくお願いたします。

## 老健施設長

すがはら こういちろう  
菅原 功一郎

新年あけましておめでとうござい  
ます。

旧年中は地域の皆様、職員の皆さま、病院の先生方には格別のご支援とご配慮をいただき熱くお礼を申し上げます。私も当法人に参りまして3年目を迎えましたが、次第に慣れ、日常の業務もスムーズに流れる様になりました。その間、2回のコロナクラスターを経験し、多少混乱は致しましたが、幸い大禍なく経過し、現在は施設も安定しております。完全に元通りになるまで、もう少しお時間をください。

さて昨今の身近な話題を見てみましょう。パーティ収入の問題がメディア上取り沙汰されています。私は、これらは古い時代の人々の忖度し合いこ、論点ずらしたと考えています。今後、これらの問題が良い方向に進むとは思えません。

さはさりながら、私は日本が好きです。日本人は概ねうまくやっています。年齢73歳を迎える私としましては、この状態が続いて欲しいと思っています。

終わりに我々としみしても、日々精進を地道に続けてまいりますので今後とも変わらぬご厚情、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年の挨拶にかえさせていただきます。

## 老健事務長 グループホーム長

くらはら こうじ  
倉原 浩二

新しき年の初めの初春の 今日降る雪  
の いや重(し)け吉事(よ)と)

元旦から続いた激震、航空機事故、大規模火災で犠牲となられた方々への哀悼の意、被災された方々への連帯の想い、被災地の一日も早い復興を願う気持ちをまず申し上げます。

さて、卯年が去り辰年を迎えました。が、年の初めにいつも思い出すのが万葉集のこの歌です。「新年を迎え、初春も迎えた今日、降る雪のように良い事もたくさん積もりますように」という意味ですが、この一年がこの広報誌を読まれている方とそのご家族すべての方に「佳きこと」が降り積もる一年になることを願っています。

老健では玄関を入ると正面に立つ「夢見る力 星守り人(ほしまもりびと) 赤川政由氏作」の像が来訪者を出迎えてくれます。先日、雪が降ったある日、通所に来られた高齢の利用者Aさんをホールの自席まで案内していた時、「こんしはえれえなあ。雨ん日も、風ん日も、雪ん日も上を向いて立つちよるなあ」とつぶやきました。年齢95歳を迎えた人生の大先輩、さすがです！甘いも、苦いも、辛いも、しょっぱいも人生の喜怒哀楽をかみわけてきた方にしか発することができな

いこの言葉、特に「何があってもいつも上を向いていること」に通じすがりに像を横目でちらつと見た瞬間に見抜いた洞察力には唯々驚くばかりです。

年を取ればそれ相応に認知・身体機能が衰えるのは仕方ないことです。大切なものは失ったものの数を数えることではなく、残ったものをいかに大切にして、失ったものを補うに余りあるものにしていくか。そのためにはどんな看護、介護、リハビリサービスを実施していけばいいのか？Aさんの感性が何気なく発したことはそんなヒント、宿題を私たちに与えてくれました。

兎にも角にも人生の大先輩に伴走しながら、長い人生で培われたその珠玉のつぶやき(ツイッター)を聞き逃すことなく、耳を澄ませて、目を凝らして私たちは課題を探していききたいと思えます。そして、それを一つ一つ解決することで、入所者、入居者、利用者とそのご家族の幸せを高められるように職員一同、一丸となって努力、邁進してまいります。辰の勢いにあやかり元氣にあふれた1年にしていけますので本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます！



夢見る力 星守り人

## 部門紹介

### 検査科係長

さとう ひとし  
佐藤 仁

こんにちは。検査科です。

検査科は臨床検査技師という国家資格を持った技師が資格を活かした業務を行っていますが、皆さんにとってはあまりなじみのない職種と思います。臨床検査技師は医師が診療する際に患者さんの病気やケガの状態を評価するための検査をする職種になります。仕事は大きく分けて検体検査と生理機能検査の2つになります。

検体検査は皆さんから血液・尿・便等の体の中にあるものを頂いて行う検査です。血液検査では臓器の機能、血糖、コレステロールを、検査機器を用いて数値にして臨床に返しています。尿検査では尿の中に糖、蛋白、赤血球、白血球、細菌が出ていないか検査します。生理検査は心電図・超音波検査・肺機能検査等の患者さんと一緒に行う検査になります。心電図は体

に電極を付けて心筋梗塞や不整脈を見つけます。超音波検査は見たい部分に超音波をあて腹部・乳腺・甲状腺では腫瘍や大きさ、心臓では動きを見ます。

その他にも採血や内視鏡検査の補助を行い、幅広く活躍をしています。

検査と聞くと悪い時に行うイメージが強いと思いますが、当院は健診も行っています。悪くなる前に健診で血液検査や超音波検査を試してみませんか？

検査の事で分からない事、不安なことがありましたらお気軽にご相談ください。

## 人材育成研修

接遇に関する職員の意識改善を目的とした人材育成研修を実施しました。講師にコミュニケーションオフィスT A Zの石本田鶴子様

をお招きし、全3回の構成で計画しています。石本様は平成26年8月に個人事務所を開業し、県内外の多くの人材育成に携わっており、新人研修、リーダーシップ、メンタルヘルスなどコミュニケーションに関する研修を行っています。当院の新人研修にて社会人としてのマナー研修でも講師をしていただきました。

コミュニケーションやマナーについて「知っている」「理解している」と思っていることでも改めて考えさせられることも多く、有意義な研修となっています。

参加者は各各部署より選抜されており、日々の業務にて実践し法人全体に成果を広げていく予定です。

人材育成研修の様子





# 老健だより



介護老人保健施設ヴァル・ド・グラスくじゅうの日常を紹介するコーナーです。

## 通所リハビリ

10月16日から21日にかけて、運動会が行われました。赤白に分かれ、職員も一緒に力を合わせて頑張りました。職員競技の相撲大会は、「涙が出るほど笑った、面白かった」との感想をいただき大盛況でした。

また、12月11日から6日間、忘年会を開催しました。職員のダンス、ゲームやビンゴで一時間楽しんでいただきました。



## 入所

【10月】ハロウィンを開催しました。職員と一緒に仮装をして、写真撮影を行いました。

【11月】お抹茶をたてて、和菓子を用意し、お茶会を開催しました。いずれも職員手作りのおやつと共に、日常と違ったひと時になったかと思えます。



## 九州アルプス商工会様

11月20日、車椅子の清掃をしていただきました。毎年、隅々まできれいにしていただき、気持ちよく使用してもらうことが出来ていきます。今年もありがとうございました。



## 冬の事故 運動

12月12日早朝街頭啓発活動  
～小倉交差点にて～



# 道の駅たけた いちご狩り



12月より開催されている、道の駅たけたでのいちご狩りに行ってきました。品種は「ゆふおとめ」「さがほのか」「紅ほっぺ」の3種類あり、大粒の甘いいちごがたくさん実っていました。5月まで開催される予定ですが、1・2月が旬な時期です。お時間のあるかたは立ち寄ってみてはいかがでしょうかでしょう。



「たけ旅」いちご狩りページ

## 外来担当医表(2024年1月1日より)

※土曜日の午後・日曜日・祝日は休診となります。  
都合により担当医が変更になる場合がございます。ご了承ください。

		月	火	水	木	金	土
循環器内科	午前	秋好	山崎				
	午後						休診
消化器内科	午前		正				
	午後			福田			休診
呼吸器内科	午前		高木				
	午後						休診
膠原病・腎臓内科	午前					大村	
	午後					大村	休診
神経内科	午前					水上	熊本(第4)
	午後					水上	休診
総合診療科	午前	靱井・筑波	重光	多田	靱井・筑波	靱井	多田
	午後	外来担当医		外来担当医	外来担当医	外来担当医	休診
外科	午前	小野(再診)	小野	小野	小野	小野(再診)	要予約
	午後	高橋(新患)	外来担当医	手術	外来担当医	手術	休診
内視鏡室	午前	小野	正	小野	小野	小野	要予約
	午後	小野	正	手術	田中・小副川(隔週)		休診
脳神経外科	午前			阿南 (10:00~)			
	午後						休診
整形外科	午前	浅尾・佐藤	浅尾・佐藤	津村・佐藤	津村・浅尾・佐藤	浅尾・松田	休診
	午後	外来担当医	外来担当医	手術	外来担当医	手術	休診
泌尿器科	午前					井上 (10:00~16:00)	
	午後						休診
乳腺外科	午前						末廣(第1・3)
	午後						休診
婦人科	午前						外来担当医(第1・3) 宮川(第2・4)
	午後						休診
心臓血管外科	午前						外来担当医(第3)
	午後						休診
リハビリテーション科 促通反復療法(川平法)	午前	川平和美 鹿児島大学名誉教授 促通反復療法研究所<川平先端リハラポ>所長					
	午後	川平医師の診療は、隔月・予約制となっております。日時につきましては当院ホームページのお知らせをご覧ください。					

備考: 都合により担当医が変更になる場合がございます。ご了承ください。  
( )の数字は、月の何週目かを表しています。例) (第3)は、3週目に当該の医師が診断致します。